第５回「知的障がい者等に対する金融教育支援員セミナー」開催

平成 27 年５月 30 日（土）、東京都千代田区の「ちよだプラットフォームスクウェア」において、ゆうちょ財団主催の「第５回　知的障がい者等に対する金融教育支援員セミナー」が開催されました。

「知的障がい者等に対する金融教育支援員養成講座」が開講されて半年が経ちました。この間、講座を受講・修了して、金融教育支援員に登録した人も徐々に増えてきました。

金融教育支援員に登録された人の中には、知的障がいのある人を対象にした講座の講師を務めている人もいらっしゃいますが、多くの人は講師を務める機会はそれほど多くありません。

今回の講座は、知的障がい等のある人を支援する際や知的障がい等のある人を対象にした講座の講師を務める際に、どのようなことに気をつけたらいいのか、接し方や話をする際の工夫の仕方等々、初めて知的障がい等のある人と接する場合や講師を務める際に知っておきたいこと、知らなければならないこと等について、「とどけよう　わかりやすく　楽しい学びを！」と題して、ゆうちょ財団金融教育講座講師や相談支援専門員として、数多くの講座講師を務めている社会福祉士の江國泰介氏に、具体的かつ率直にお話をしていただきました。

講座は、知的障がいのある人を理解するために、知的障がいの定義や知的機能についての説明から入りました。知能の働きは見る・聞く・触る・嗅ぐなどの感覚器官から入る情報を選択することが重要となるが、この情報は経験を積み重ねることにより、何が必要であるのか等の意味を理解できる。具体的には、ガスのにおいがしたら、あぶないということを理解できるには、ガスが爆発する危険があることを知っていることが前提となること、そのためガスのにおいがしたら元栓を閉めるなどの行為が必要であることなど、知能の働きを説明しました。

また、知的障がいのある人は抽象的なことが苦手であることの説明について、一般の人がまったく言葉の通じない外国にいた場合にどのようにしてコミュニケーションをとるのか、それと知的障がいのある人の置かれた状態の類似性など、具体的な例示で説明しました。

さらに、障がい特性の理解に立ったより良いコミュニケーションの取り方のための発信の工夫、受信の方法など、講師の長年の経験に基づく具体例を交えて、わかりやすい説明がされました。

今回の講座は３時間近くに及ぶものでしたが、受講者の皆さんは熱心に聞き入っていました。

次回の金融教育支援員向けセミナーは、盛岡市での開催を予定しています（平成 27 年６月 27 日）。多くの皆さんの参加をお待ちしています。